



➔ 10月30日（火） 校内ディベートセミナー 活動報告

10月30日（火）、本校大会議室にて英語ディベートセミナーが行われました。定員を超える応募があり、ディベート活動に対する本校生徒の関心の高さが伺えます。

昨年も参加をした2年生の精鋭メンバーの参加もあり、また、1年生の英語力の高さもあり、セミナーは大変な盛り上がりでした。この即興型ディベートは、事前に準備をするのではなく、その場でテーマが与えられチームで戦略を立てます。英語が流暢であるということ以上に、いかに自分たちの意見や考えに説得力を持たせるのかが大きな要素になります。

最初のトピックは”High school students should have part-time job.”「高校生はアルバイトをすべきである」です。賛成、反対の立場は予め決められているので自分で選択することはできません。与えられた立場で、自分たちの意見を主張することになります。3名～4名を1チームとして、対戦が行われ、ジャッジによって勝敗が決められました。対戦後は、ジャッジの方から講評をいただきます。「こういう主張には、こういった反駁が効果的だった」など丁寧に説明をしてくださいました。

印象的だったのは、初めてのディベートにもかかわらず、多くの生徒が積極的に参加していたことです。言いたいことがなかなか英語にできないもどかしさを感じながらも、何とか伝えようとする姿には、今後の成長を期待させるものがありました。英語学習者が、最初から流暢に英語を喋り始めることはできません。悔しい思いをして、何度もチャレンジしていくうちに、少しずつ英語力が上がっていくのです。また、ディベートのような実際的な活動を通して英語力を磨いていくことによって、英語の流暢さだけでなく、コミュニケーション力や話の説得力も身につけてきます。

今年はとても印象的な場面がいくつかありました。1、2年生とも本当によく取り組んでいて、充実した様子でした。それぞれについてコメントします。

1年生について

参加者の英語力がとても高く、またこのワークショップでディベートを学ぼう！という気持ちを強く持っていてくれたと思います。ディベート後にジャッジからいただく助言にもしっかり耳を傾け、意見交換でも笑顔が出るなど、楽しんでいる様子が伝わってきました。楽しむことができる、ということは大事な要素です。

英語力も高く、一生懸命話す姿勢はとても評価できるのですが、ディベートはあくまでも相手の主張の脆弱な部分を見だし、こちらの主張の正当性を説得力をもって伝えなければなりません。ですから、「正しい英語を話し、一般的な意見を言う」だけでは不十分です。説得力をもたせる、ということがポイントになります。1年生は現在、プレゼンテーション活動を行っていますが、今後はディベート活動が始まります。今の段階で、説得力について考えながら発表を行い、ノートテキングに慣れておき、グループで意見交換することに習熟しておきましょう。

2年生について

2年生はさすがに、論も強く、説得力も高いものがありました。日頃から取り組んでいるディベート活動の成果だと思えます。でもだからこそ、さらに強い説得力が欲しいところです。想起される相手の論を先回りして攻め、自らの意見を客観的なエビデンスと共に主張する。すでに2年生は気づいていることと思いますが、ディベートでは英語力に加えて、教科横断的な知識、そして社会的な知識が必要になります。英語以外の教科からも、常にトレーニングを積むような意識になるとよいと思います。またディベートでは、アイコンタクトやジェスチャーなどの要素も重要な役割を持ちます。

(参加者感想)

英語ディベートは初体験だった。ディベート中は相手側の主張や反論を聞きながらその場で自分の主張をまとめるのでとても忙しく、言いたいことが後からまとまるというもどかしい思いをしたが、すごく刺激的で楽しく、あっという間だった。(1年女子 Kさん)

議論の内容自体がとても楽しかった。他クラスの人と仲良くなることができたのも良かった。自分は人に伝える力と、他の人との連携、単語力が足りないと感じた。(1年男子 T君)

今日は電子辞書を使いながらの参加だったので、語彙が足りないことを何とかしなくてはいけないと思った。とても良い経験だったので、日ごろから自分の意見を英語で言えるようにしたい。(1年女子 Mさん)

周囲の人の語彙力がとても豊富だったので、それに学んで楽しむことができました。自分としては、他者からの鋭い意見に対して短時間で反論するのが良い経験になりました。(1年女子 Mさん)

英語を使って、自分の意見を説得力あるように伝えるのは非常に難しかったです。個人的にコメントをもらえて参考になり、とても楽しかったです。授業のディベートでも生かしていきたいです。(1年女子 Sさん)

個人的な批評もいただけてよかった。英語がすぐには出てこないと言う状況が何度かあってもどかしい思いをすることが多かったことが、反省すべき点だと思った。(2年女子 Eさん)

今回のディベートでは即興で討論する楽しさと難しさを実感した。また、自分で実際にやり取りするのは見ている以上に頭を使い大変なことだった。今回学んだ事はこれからのディベート活動に生かしたい。(2年女子 Hさん)

➡ 11月18日(日) 本校での合同ディベートセミナー

首都圏の進学校による合同ディベート大会が、今年から本校で行われます。

日時 平成30年11月18日(日曜日) 12時00分～17時30分

場所 本校二階 大会議室

参加校 東京都立日比谷高校、東京都立西高校、埼玉県立浦和第一女子高校
埼玉県立浦和高校、神奈川県立湘南高校、千葉県立千葉高校、千葉県立船橋高校
東京都立三田高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、東京都立八王子東高等学校

対象 1、2年生

参加希望者は、3名チームを組み、グローバル事業部)まで直接申し出てください。その際、クラス・氏名を書いたメンバー表を提出すること(書式自由)。当日に確実に参加できることを確認してください。

参加者が10名程度と限られているので、原則的に早く申し出たチームを優先とします。ご了承ください。申し込み期限は11月9日(金)までとします。